

戦後70年平和祈念事業

戦後70年にあたり、市内小学生による平和施設「昭和館」の見学会を行いました。
また、9月27日まで開催されている第34回企画展「戦火に生きる」の様子を紹介します。

◆昭和館見学会

8月18日、八條小学校、松之木小学校の5・6年生37人が、東京都千代田区にある昭和館を見学しました。

昭和館では、1935年から1955年ごろの国民生活を伝える資料が数多く展示されていました。

戦争による「家族の別れ」をテーマとした展示では、徴兵された家族の無事を祈って作られた千人針や戦地と家族の間で交わされた手紙があり、当時の人々の想いが伝わってきました。「昭和10年頃の家庭」の展示では、冷蔵庫など当時の生活用品を見ることができ、「銃後の備えと空襲」の展示では、防空壕のジオラマ（縮尺模型展示）を体験することができました。

参加した児童からは、「昭和館に来て戦争はつらいことだと分かった」「亡くなってしまった人のためにも戦争はしたくないと感じた」「私は今まで、戦争について考えたことがなかったけれど、これからは、どうしたら平和な生活を送っていきけるかをしっかり考えて友だちや家族と話し合っていきたい」などの感想が寄せられました。

なお、見学会に参加した児童の感想文を資料館に展示しています。

●昭和館見学会感想文の展示

日 9月27日(日)まで

場 資料館

費 無料

問 人権・男女共同参画課 ☎⑧11



当時の生活の様子を見学



映像・音響室での資料検索

◆第34回企画展「戦火に生きる」

問 資料館 ☎997-6666

現在、資料館で開かれている第34回企画展「戦火に生きる」には、開催初日の8月1日から18日までの15日間で1,145人の方が来場しました。

展示を見学した方からは、「現在の平和があるのも、こうした労苦のうえにあるものだというのを忘れてはいけない。ぜひ、若い方々、子どもたちに見てほしい」

「市内の出来事であり、身近なこととして受け入れられた」「今まで話には聞いていたが、やはり写真で見るとよく分かる。貴重な資料を見せてもらったと思う」などの感想が寄せられました。

第34回企画展「戦火に生きる」は、9月27日(日)まで開催しています。ぜひ、ご来場ください。



戦費を調達するため、昭和18年(1943)に国民に売り出された国債のチラシ。「敵を倒すためだ」のキャッチコピーに見られるように、国債を買うことは日本の勝利につながると宣伝された。

第11回戦時貯蓄報国債権

広報やしお広告掲載業務委託事業者を募集します

広報やしおは、11月号頃から、有料広告の掲載開始を予定しています。そこで、広告の募集から掲載までのすべての業務を行う事業者を募集します。

問 広聴広報課 ☎④423

●業務内容

市は、広報やしお12面最下段に広告枠を3枠設置します(1枠分の大きさは縦4.5×横7.5センチメートル)。

事業者は、広告の募集・審査・選考、掲載原稿の作成、広告掲載料の回収までのすべての業務を行います。

●事業者の選定

公募型プロポーザル方式とし、「広報やしお広告掲載業務委託事業者選考評価基準」に基づき書類審査を行います。審査結果は、10月上旬に、申込者全員に郵送で通知します。

なお、審査内容、結果などに関する質問および意見には対応しません。

●質疑について

事業者募集について質問がある場合は、9月15日までに、電子メールで広聴広報課へ送信してください(様式自由)。また、電話で、質問を送信した旨お知らせください。

質問があった場合は、9月17日までに、申込者全員に電子メールで回答します。

●申し込み

市ホームページ「広報やしお広告掲載業務委託事業者募集」をご覧のうえ、「広報やしお広告掲載業務委託事業者募集要領」に記載されている提出書類を9月18日(必着)までに、窓口または郵送で広聴広報課へ

いきいき やしお 写真館

やしお毎日1万歩運動開講式・測定会



8月17日・22日、保健センターで、「やしお毎日1万歩運動」の開講式・測定会が行われました。

測定会は、血液検査、体力測定、体脂肪率などの体組成測定を実施しました。体組成測定の結果を隣の人と見比べたり、体力測定では、日頃の体力不足の話題で盛り上がるなど、始終にぎやかな雰囲気で行われました。

参加者からは、「ただ歩くだけでなく、歩数計を身につけて歩くことで、結果が分かり、励みになる」「これをきっかけに、減量に取り組みたい」などの声が聞かれました。